授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
老年看護学実習	3年次	前期	2	80	有

科目責任者	長尾貴子
目的	高齢者を生活者として捉え、人間の成長発達を高齢者の心身機能と生活状況から広く理解し、人間理解と高齢者サポートの意味やその方法の概要を理解する。また、認知症に対する知識を深め、実際を通して、支援する方法を考える。
目標	1．高齢者を生活者として捉え、身体的健康、生活の自立度、心理・社会的健康、環境、生活史の側面から理解できる。 2．高齢者の健康と生活に関する問題について、総合的に理解する。 3．認知症の病態を理解し、対応する態度がとれる。 4．高齢者の思いや希望を中心に置いた支援計画を立案できる。 5．高齢者の生活史・価値観を考え、尊重した態度がとれる。 6．高齢者との関わりの場面をプロセスレコードに記載し、自己の振り返りができる。 7．高齢者に関わるほかの保健医療福祉チームを知り、看護の役割と機能を理解する。

内容

回	内容
1	施設オリエンテーション
2	見学実習・コミュニケーション・受け持ち患者の情報収集、アセスメント
3	見学実習・コミュニケーション・受け持ち患者の情報収集、アセスメント
4	通所リハビリテーション見学・受け持ち患者の看護計画立案
5	見学実習・コミュニケーション・中間カンファレンス
6	認知症病棟見学実習・コミュニケーション・プロセスレコード
7	認知症病棟見学実習・コミュニケーション
8	サービス担当者会議見学・コミュニケーション
9	コミュニケーション・ユマニチュード
10	コミュニケーション・最終カンファレンス

履修条件	1・2年次の単位すべてを修得のこと。
評価方法・基準	実習要綱に定める。